

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和6年3月8日

| | | | |
|-----|---------------|-----|------------------------|
| 施設名 | 高知県立埋蔵文化財センター | 所管課 | 高知県文化生活スポーツ部 歴史文化財課 |
|-----|---------------|-----|------------------------|

1 施設の概要

| | | | |
|--------|---|------|---------------------|
| 指定管理者名 | 公益財団法人高知県文化財団 | 指定期間 | 平成30年4月1日～令和5年3月31日 |
| 施設所在地 | 南国市篠原1437-1 | | |
| 事業内容 | <p>○施設管理(埋蔵文化財保護の中核施設として最適な施設管理を行う)</p> <p>○出土文化財等資料管理(出土遺物を適切に保管・管理し県内外からの依頼に応じて貸出等を行う)</p> <p>○広報普及(発掘調査成果及び出土文化財を広く県民に公開することにより埋蔵文化財に対する保護の推進と普及啓発を図る)</p> | | |
| 施設内容 | <p>○面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など</p> <p>面積:本館(1,038.68㎡) 北館(518.40㎡) 南館(1,045.92㎡) 収蔵庫(1,527.52㎡) 展示室(51.63㎡)</p> <p>開館時間:午前9時～午後5時 休館日:土・日・祝祭日、12月29日～1月3日 (巡回展の期間中及び公開講座等開催日の日・祝祭日は開館)</p> <p>利用料金:無料</p> | | |
| 職員体制 | 常勤職員: 6名(管理職1名、県派遣職員4名、財団事務職員1名) | | |

2 収支の状況

単位:千円

| | | 令和3年度(決算) | 令和4年度(決算) | 令和5年度(予算) |
|----------------|---------|-----------|-----------|-----------|
| 収入 | 県支出金 | 39,613 | 35,315 | 53,317 |
| | 補助金等収入 | 1,800 | 1,610 | |
| | その他 | 383 | 341 | |
| | 収入計 (a) | 41,796 | 37,266 | 53,317 |
| 支出 | 事業費 | 9,405 | 9,033 | 11,387 |
| | 管理運営費 | 13,784 | 13,937 | 16,441 |
| | 人件費 | 18,607 | 14,296 | 25,489 |
| | その他 | 0 | | |
| | 支出計 (b) | 41,796 | 37,266 | 53,317 |
| 収支差額 (a) - (b) | | 0 | 0 | 0 |

3 利用状況

| | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) |
|---------------|---|---|-----------|
| ①年間利用者数(単位:人) | 3,441 | 3,445 | 3,700 |
| ②利用者意見等の反映 | ○利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等) 展示企画や関連行事、公開講座への参加者に対しその都度アンケートを実施することで意見や感想の収集及びニーズの把握に努めた。 回答数3,083(館外での講座を含む) | | |
| | ○利用者意見等を踏まえた対策 ・各講座後は受講者にアンケートを実施し、結果を次年度の講座内容等に反映させている。 ・新たに煮炊き用土器の変遷や古代衣装の復元展示等の特設コーナーを設置することで展示期間以外の来館者利用に対応していた。 | | |
| | ○その他(以下は、アンケートの一部) ・講座の途中で資料見学の時間を取ったり市町村ホームページによる説明があり聴講者を飽きさせない構成が良かった。 ・出土した遺物を実際に間近で見ることができて良かった。 ・初めての参加、県内で遺跡の解説会があることを知らなかった。 ・セミナーを兼ねた遺跡巡りやディベートもあれば良いと思う。 ・図面を読み解くことが面白かったし資料も行き届いていて分かりやすく楽しかった。 ・最新の研究成果、動向が知れて参考になった。 ・説明を受けながら史跡を巡ると目から耳から情報を得ることができ、とても、有意義に学びました。 ・地元の宝に気づくチャンスとなった。この遺産を町で有効に活用してほしい。 ・土器の基本について説明を受けた後、更に実物を見ながら説明してもらえたので特徴の違いや表面の様子がよくわかった。 ・講座をYouTubeでやれば良いと思いました。お話も興味深かったです。 ・夏休み前に学校からチラシを持って帰り「これに行きたい」と楽しみにしていました。これを切っ掛けに展示を見せて頂きたいと思います。 | | |
| ③その他特記事項 | | | |
| 4 令和4年度業務評価 | | | |
| 項目 | 状況説明 | | |
| ①適正な管理運営の確保 | ○協定書、事業計画書の内容に従って適正な管理が行われた。 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止対策は適正に行われていた。 ○有事を想定し消防計画を基に訓練を実施し利用者の安全確保に努めた。 ○職員による日常的な館内清掃や廃棄物の分別、施設内及び周辺の植栽管理ができていた。 | | |
| ②利用者サービスの維持向上 | ○Facebookの活用やホームページの充実等による情報発信に務めていた。 ○受講者のニーズを把握し検証していくために各講座でアンケート実施した。 ○埋蔵文化財センターの特質である専門性の高い講座と、楽しみながら遺跡や考古学、高知県の歴史が学べるわかり易い講座を開催した。 ○収蔵物への問合せに対応するため、これまでに実施してきた膨大な発掘調査成果である出土遺物を再接合し、一覧表の作成や図面及び図書等の資料の整理作業を実施した。 | | |
| ③利用実績 | ○小学校を中心に地域学習や施設見学等による団体利用や平日入館者の増加傾向があり、これまでの地道な活動により認知度が向上定着してきた。 ○広報普及と事業の中核である出前考古学教室は、66校(2,618人)を対象として出土遺物を「見て」「触れる」機会を提供し、夏休み期間中の親子考古学教室(32回(886人参加))の開催は、考古学や歴史への興味・関心を喚起する切っ掛け作りとなり、いずれも好評であった。 ○地域の歴史に対する興味と関心を高めるために佐川町教育委員会と連携し地域展を開催した。周辺地域で実施された発掘調査成果の展示、遺跡の立地環境を上空から俯瞰するパノラマVRの作成と設置、ワークショップ、講演会を実施し期間中157人が参加した。 ○出土遺物を県内外博物館8件と資料調査のため研究機関に15件を貸出した。また、学校や団体等の活動に火起こしや勾玉づくりの体験ができる道具の貸出しを行った。 | | |
| ④収支の状況 | 高知県からの指定管理代行料に加え、文化庁の国庫補助金を活用するとともに経費の節減に努め、業務に要する適正な経費を支出後は残額を県に精算返納した。 | | |
| 総合評価 | B | ○施設館内の維持管理は適正に実施できていた。 ○地道な活動を通して入館者確保に努めその成果は見られたが、更に利用者目線を意識した質の高いサービスに努めていく事が重要である。 ○テーマ設定に基づく展示企画とそれと関連する講演会やシンポジウム等の内容の精選と充実を図り利用者から好評であった。 ○埋蔵文化財センターの設置目的である埋蔵文化財への理解と保護を目指し、情報発信と各種企画展、各種講座、出土遺物を実際に「見せて」「触れる」ことができるセンターが持つ特色を活用し、施設利用者の確保や埋蔵文化財の普及啓発に努めていることは高く評価できる。 | |

- 【評価の目安】
- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 - B: おおむね仕様書の内容とおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 - C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 - D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの